

質問

電場解析の空気領域の広さについて

回答

電界が十分小さくなる場所まで空気のボディが存在している必要があります。

[解析条件]、[メッシュの設定]、「空気領域を自動作成する」をONにすることで空気領域は自動作成されます（デフォルトではONになっています）。（次スライドを参照）

- 電界が十分小さくなるまで空気のボディが存在している必要があります。
- [解析条件]、[メッシュの設定]、「空気領域を自動作成する」をONにすることで空気領域は自動作成されず（デフォルトではONになっています）。
- 「解析の種類」を「静電界（抵抗値）」にした場合は、電界が空気領域に漏れないため「空気領域を自動作成する」のチェックは自動的にOFFに設定されます。
- 空気領域のサイズはデフォルト「空気領域のモデル長」x3倍で問題ありませんが、「外部境界条件」を「開放境界」に指定した場合は空気領域はさらに狭くしても精度を保つことができます。

解析条件の設定

ソルバの選択

電場解析

メッシュ

外部磁界

開放境界

調和解析

高度な設定

結果インポート

説明

メッシュ

メッシュ設定

メッシュG2を使用する

失敗した時にG1を実行する

標準メッシュサイズを自動的に決定する

標準メッシュサイズ [mm]

要素の種類

3角形 / 4面体

4角形 直交格子を使用する

要素の次数

1次要素 (時間重視)

2次要素 (精度重視)

メッシュのコントロール

空気領域自動作成

空気領域を自動作成する

空気領域のスケール モデル長

空気領域のメッシュサイズを自動的に決定する

空気領域のメッシュサイ [mm]